

「無添加骨太住宅」ができるまで



一般住宅とは思えないほどの太さと量の鉄筋を使用。平屋建てでも3階建てに相当する高強度のベタ基礎を標準仕様に



軟弱な地盤にはPCパイルによる地盤補強を実施。全ての杭(くい)が支持層まで達していることを施主と確認する



棟上げの様子。遠目でも見て木材の太さ、構造の強さは一目瞭然。「2階のどこでもランドピアノが置けますよ」(喜代次さん)



基礎となるコンクリートの厚さや立ち上がりの多さが強度を物語る。見えないところこそ責任を持って施工するのが同社の信条



設備メーカー主催施主イベントに同社で家を建築中・完成部の施主約150人が参加



棟上げには毎回多くの見学者が訪れ、ひと目で構造の強さを実感できる。棟上げの様子は同社HPにて動画で公開

長期優良住宅やZEHの基準を越える性能に加え、健康面にも配慮した同社の「無添加骨太住宅」。その質の高さは、建築関係のプロから自邸を依頼するほど、親子や兄弟、親戚からの紹介が多いのも特徴。「身近な人には本当にいいモノを教えたいと思いますよね。紹介の多さはお施主さまの満足の証と自負しています」(喜代次さん)。

紹介の多さは信頼の証

シックハウス症候群など健康面への関心は高まる一方、「身体に優しい生活空間を求めて弊社に依頼される方も増えています」と喜代次さんの息子で一級建築士の英喜さんは話します。同社では内装はすべて自然素材を使用。床や天井、造作家具などは用途や好みに合わせた無垢材で仕上げています。壁はサンゴ漆喰や和紙などからセレクト。他にも安全性に対する基準が高いドイツ製の自然塗料など、健康に住み続けられる素材選びに妥協はありません。

身体に優しい自然素材を厳選

シックハウス症候群など健康面への関心は高まる一方、「身体に優しい生活空間を求めて弊社に依頼される方も増えています」と喜代次さんの息子で一級建築士の英喜さんは話します。同社では内装はすべて自然素材を使用。床や天井、造作家具などは用途や好みに合わせた無垢材で仕上げています。壁はサンゴ漆喰や和紙などからセレクト。他にも安全性に対する基準が高いドイツ製の自然塗料など、健康に住み続けられる素材選びに妥協はありません。

また屋根、壁、床下まですっぽりと断熱材で覆うため、まるで魔法瓶のように外気の影響を受けにくく、夏涼しく、冬は暖かい住空間を実現。太陽光や空気の流れをコントロールし、効果的に気密断熱性を高められるように設計施工。快適かつ省エネに暮らせるのが魅力です。

気密断熱性能はZEH基準以上

住み心地を左右する大切な要素が気密断熱性。同社では、断熱材と外壁の間に通気層を設けた外断熱工法を取り入れ、ZEH基準を大幅に上回る気密断熱性能を標準仕様に。外断熱は結露の心配がなく、カビや腐食の心配を解消するので耐久性にも優れています。

また屋根、壁、床下まですっぽりと断熱材で覆うため、まるで魔法瓶のように外気の影響を受けにくく、夏涼しく、冬は暖かい住空間を実現。太陽光や空気の流れをコントロールし、効果的に気密断熱性を高められるように設計施工。快適かつ省エネに暮らせるのが魅力です。

「耐震等級3」プラス骨太構造
どんなに太い木を使っても、それを支える基礎が強くなければ強い家とは言えません。同社では宅地の状況や方角、周辺環境、土砂崩れや水害の危険性などを考慮し、土地選びから親身にアドバイス。決定した土地に対しては綿密に調査し、軟弱な場合は地盤改良を行います。その際、通常の戸建て住宅ではあまり使われない高強度のPC杭を使って地盤を強化。さらに高密度に鉄筋を組み込んだベタ基礎を採用。これは平屋建てでも3階建てに相当するとか。

「耐震等級3」プラス骨太構造
どんなに太い木を使っても、それを支える基礎が強くなければ強い家とは言えません。同社では宅地の状況や方角、周辺環境、土砂崩れや水害の危険性などを考慮し、土地選びから親身にアドバイス。決定した土地に対しては綿密に調査し、軟弱な場合は地盤改良を行います。その際、通常の戸建て住宅ではあまり使われない高強度のPC杭を使って地盤を強化。さらに高密度に鉄筋を組み込んだベタ基礎を採用。これは平屋建てでも3階建てに相当するとか。

「耐震等級3」プラス骨太構造
どんなに太い木を使っても、それを支える基礎が強くなければ強い家とは言えません。同社では宅地の状況や方角、周辺環境、土砂崩れや水害の危険性などを考慮し、土地選びから親身にアドバイス。決定した土地に対しては綿密に調査し、軟弱な場合は地盤改良を行います。その際、通常の戸建て住宅ではあまり使われない高強度のPC杭を使って地盤を強化。さらに高密度に鉄筋を組み込んだベタ基礎を採用。これは平屋建てでも3階建てに相当するとか。

「耐震等級3」プラス骨太構造
どんなに太い木を使っても、それを支える基礎が強くなければ強い家とは言えません。同社では宅地の状況や方角、周辺環境、土砂崩れや水害の危険性などを考慮し、土地選びから親身にアドバイス。決定した土地に対しては綿密に調査し、軟弱な場合は地盤改良を行います。その際、通常の戸建て住宅ではあまり使われない高強度のPC杭を使って地盤を強化。さらに高密度に鉄筋を組み込んだベタ基礎を採用。これは平屋建てでも3階建てに相当するとか。

自然乾燥の無垢材を家の要に

大喜工務店の家を見ても驚くのが柱や梁の立派さ。木造住宅の骨格となる構造材は、すべて圧倒的な太さの無垢材を使用しています。大黒柱は8寸(24cm)角以上、通し柱は6寸(18cm)角以上の良質のヒノキ。岐阜県や長野県の産地から大量に仕入れています。

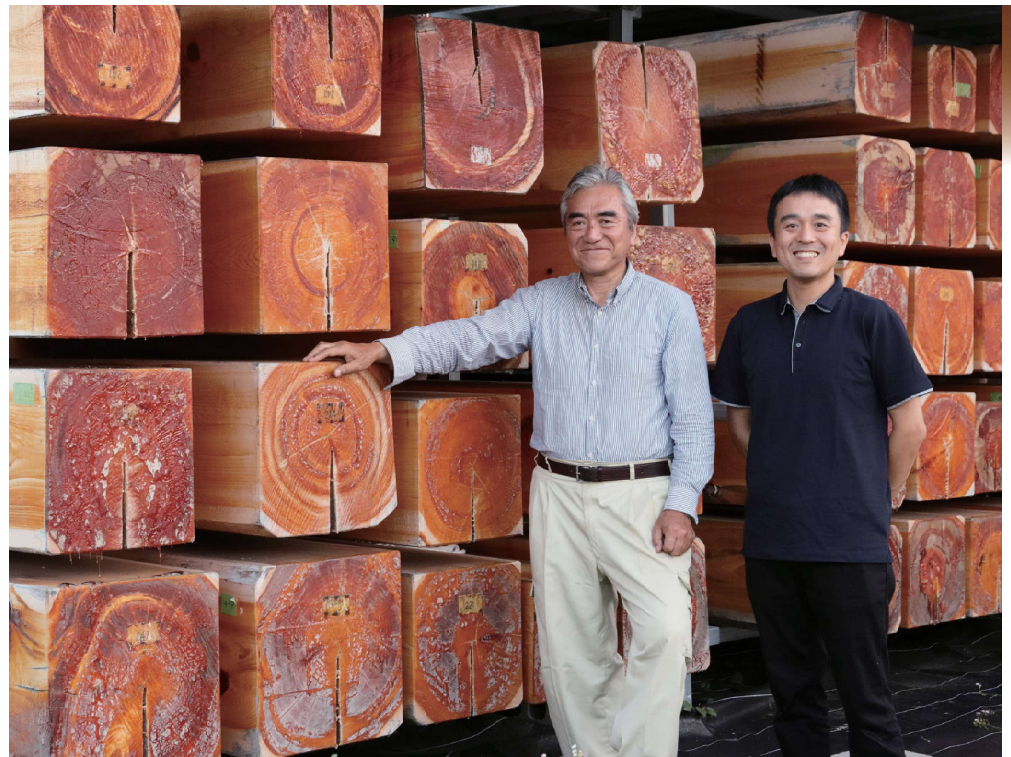


施主に愛され、住宅のプロも認める「すごい家」

無添加骨太住宅とは？

だいきこうむてん
大喜工務店

「強く快適な家に住みたい」という私たちの願いに、徹底した品質と施工で応えてくれる大喜工務店。自然乾燥させた極太の無垢材を使い、基礎や断熱、健康にまでこだわった同社の「無添加骨太住宅」は、「大喜さんでよかった」と多くの施主から信頼を集め、住宅建築に携わるプロからも自邸を依頼されるほど。その「すごさ」の秘密に迫ります。



倉庫前に立つ喜代次さん(左)と英喜さん。このように仕入れた材木を雨や風にさらしてゆっくり乾燥させる。約15カ所ある倉庫は全部合わせると東京ドームのグラウンドより広いそう



見ただけでわかる強靱な構造体

一尺(30cm) 角なら10年以上自然乾燥させた粘り強いヒノキ材を使用。長期自然乾燥によりヒノキの持つ免疫力が増し、薬剤は不要になるのだそう。1本1本が圧倒的な強さを持つ柱や梁(はり)をがっちり組み上げる



ライフスタイルに寄り添う間取りが秀逸
頑丈な木組みの下でのびのびと暮らす幸せを

ウォールナットの床やサンゴ漆喰の壁など調湿・防臭効果が高い自然素材を惜しみなく使った開放的なLDK。「子どもがのびのび走り回るのを見るのが幸せです」と奥さん



造作の棚やカウンターを設けた使いやすいキッチン。がっちり組まれた梁などの天井を見上げれば、頭悩ましな造りであることが一目瞭然

高い気密性で夏もさわやか
おうち時間を楽しめる木の家

人通りの多い住宅地から、一歩家に入ると木目が美しい別世界に入り込んだよう。M邸は「木の家に住みたい」と工務店探しをしていたMさん夫妻の依頼で、大工工務店が手掛けたナチュラルモダンな一軒家です。「最初の面談で、社長から大喜さんの家づくりの話を聞き、その家づくりのこだわりに圧倒されました」と笑うMさん。その後見学会に何度も参加し、太い柱や梁の力強さや自然素材に包まれる心地よさに「ここしかない」と依頼を決めたそうです。

そんなM邸は、北側が2階建て、南側は平屋という間取りが特徴。建物全体を一尺(30cm)角などの2本の大黒柱がしっかりと支えています。平屋部分は天井の高いLDKで家族がのびのびと過ごす大空間を実現。玄関、和室、リビングが回遊できるスムーズな動線で家事や育児もらくらく。一方2階には、勤務が不規則なMさんがゆとりと休息できる寝室や、子ども部屋に使える洋室を確保。全部を2階建てにするよりも建築費用を抑えられるのも魅力です。

「木の家は気密性が心配」と思われがちですが、同社では気密断熱性が高い外張り断熱で厳格に施工する上、夏の直射を遮り、冬は効率的に光を取り込むパッシブ設計により、数値では表せない空間の快適さを約束。M邸では「夏のエアコンの設定温度28℃でも寒いくらい。扉を開ければ1階全部が涼しいんです」とエコな効果に奥さんも満足そう。

「旅行先でいい宿に泊まって、帰ってくると『うちの方がいいな』って思っちゃいます」とMさん。来年は庭でバーベキューを計画中。強く快適な家が家でどう楽しむか夢はふくらみばかりです。



大迫力の現場の様子。現場を實際に見て、使われる材木のすごさに改めて驚く施主も多いそう。同社の家づくりを熟知した大工による丁寧な仕事ぶりも好印象

価値ある住まい 強さと心地よさを100年先まで

技術者II経営者。理想の建築スタイル

東近江市に昭和27年に創業した同社は、一般住宅や社寺のみを手掛けてきた地域密着の工務店です。喜代次さんは腕利きの大工であるとともに約40年前に滋賀で設計にCADを取り入れた先駆者。阪神淡路大震災を機に木造住宅の在り方を考え「無添加骨太住宅」という独自のスタイルを確立しました。英喜さんは、建築士として、教員免許を持ち地域や学校に向けて建築に関する教育活動も行っています。ともに一級建築士である二人が、打ち合わせから設計、施工管理まで全ての業務を担当。私たちは技術者でもあり経営者でもある。いろんな視点からお施主さまの思いを汲み取り、気兼ねなく意見を交わし、連携しながら、最もいい提案をしています」と英喜さんは話します。

ずいぶん家を約3000万円

金額的にも「本物の家を手が届く範囲で」というポリシーを実現するためにさまざまな工夫を徹底。木材は産地から、建具や住宅設備はメーカーから直接大量に仕入れ価格をダウンするなど独自の方法で経費を限界まで抑えています。

総額の目安は、設計料や設備工事費、確認申請手数料、各種保険料などが含まれて一般的な家のサイズで約3000万円。契約金は要らず、費用は常にお払いと、施主にうれしい仕組みが満載です。見学会は平均月2回実施。相談は随時OKです。

住宅あんしん保証優良事業者 全国1位受賞

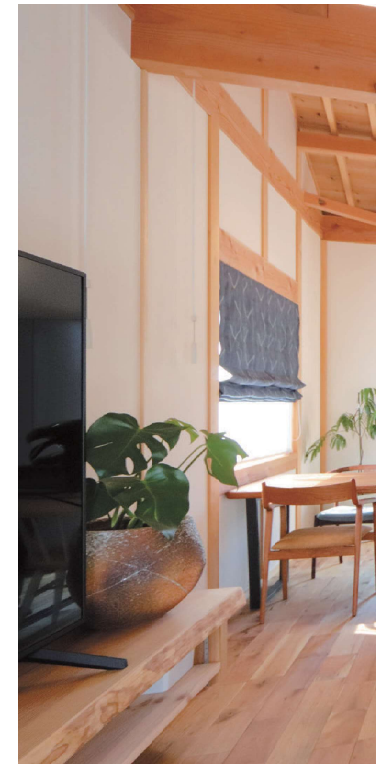
平成27年のJBN(全国工務店協会)全国大会において、住宅性能評価機関「住宅あんしん保証」が選ぶ優良事業者の第1位を受賞。また平成8年、13年には滋賀の建築業界の指導的存在に贈られる知事表彰も受賞しています。長きに渡って高品質な家づくりを貫く同社のもとへ、全国から多くの同業者が見学に訪れています。

「無添加骨太住宅」の実例は次ページに！

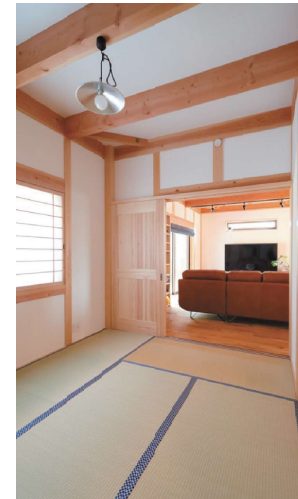




掃除がしやすいタイルデッキを設置。150cmの長い庇の下で、親子でくつろいだり子どもの水遊びなども気軽に楽しめる



木の香りに迎えられる玄関。ホールから右は洗面室、左は和室に繋がる動線に



引き戸を全開すればリビングとひと続きの大空間になる6畳の和室



家族を見守るヒノキの大黒柱。一尺(30cm)角だから存在感抜群

家づくりに大切なことを知ってもらい、 一緒に作りあげていきたい



大喜工務店
一級建築士 藤田英喜さん

私たちはお施主さまの要望をお聞きし、とことん打ち合わせを重ね、思い通りの家を実現するまで時間を惜しみません。急かすこともしません。じっくり納得がいくまでお付き合いします。
一級建築士と教員免許(理科)を持つ専門家としての立場から、アドバイスや知識をお伝えします。可能な限り建築の事を知り、一緒に家づくりを楽しんで欲しいです。そうする事で、長く愛着を持って住み続けられる家をつくる事が出来ると考えています。



2階洋室。体に優しい素材に囲まれ、万が一子どもが転倒しても大丈夫



床、壁、天井を全て無垢材で構成した広くすがすがしい洗面室



「テラスで景色を眺めているとホッとします」。菅原石（くつぬきいし）や緑石は、敷地を整えたときに出てきた石を利用

住み心地の良さの秘密

職人さんに現場で希望を伝えられるのが

施主さんにインタビュー！

（Oさん）



季節物をしまえる広いロフト。「こたつを置いて隠れ部屋にしたい」と構想中です！

Check!!

ホームページで「お客様の声」を配信中

このほかにも、インタビュー取材した実例が動画で紹介されています。マニアックに木について語る先輩施主のコメントや、家づくりへのこだわりやアドバイスが満載！



梁の上に照明を置いて地味をライトアップ

Q 使われている木がすごいですね

A 大黒柱は一尺（30cm）角のヒノキ。他の柱や梁も、大喜さんの倉庫から自分たちで運びました。特に私（奥さん）は、マツの丸太に惚れ込んで絶対使ってほしいとお願ひしたんです。これを使った地味を下から見上げた光景がカッコいいんです。

Q 大喜工務店のいいところは？

A 私たちの希望を全てかなえて、安心して暮らせる家をつくってくれたところ。完成までの工程を写真に撮っていたんですが、基礎など見えなくなる部分まですごいです。また職人さんとの距離が近くて、カウンターの高さやコンセントの位置など現場で細かく対応してもらえたのも良かったです。

Q 住み心地は？

A 夏はひんやり、冬はほかほかと一年中心地いい温度。ほぼエアコン一年で快適に過ごせます。あと無垢材や漆喰の壁など自然素材を使っているから空気がすがすがしく、木の香りがするのが日常、遊びに来た人はいい香りがすると言ってくれます。



施主さんにインタビュー！

（Mさん）



スギの無垢板でテレビ台を自作。一角はMさんお気に入りのパソコンスペースに

「すごい家」づくりは、焦らず、じっくり。

OBの声も要チェック！

Q 依頼したきっかけは？

A ハウスメーカー巡りで行き詰まっていたとき、「木の家」で検索して大喜さんのホームページに辿り着きました。でも『ダバコを吸う人お断り』などと書かれていて、怖い社長かも！となかなか電話ができなかった（笑）。実際にしゃべってみると優しく気さく。『いい家を建ててあげたい』という強い思いが伝わってきました。

Q 金額面が気になります。

A 親戚からは「こんなすごい家、高いやろ」と値段を聞かれへん」と言わ

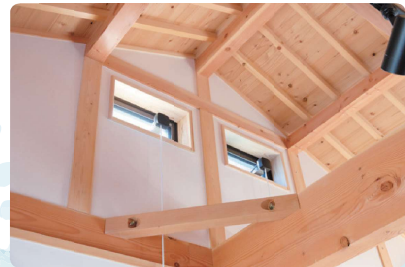


キッチンカウンターは耳付きのスギの一枚板。「毎日見ても飽きません」

れたんですが、想定より安かったですよ。床面積の坪単価80万円の中にあられる経費が含まれているし、無垢材の柱や建具などはいくつ設置しても追加料金なし。家の質を落とさずに予算に合わせて提案してもらえたのもありがたかったです。

Q OBとして読者にアドバイスを

A 工務店探しも、プランニングも焦らず、じっくりと一歩一歩と見学会は積極的に参加。僕たちは大喜さんの見学会に20回くらい参加したんですが、施主さんの生の声を聞くことができ、実際の家づくりにすごく役立ちました。



熱を逃し、風が抜けるように天井近くに小窓を設置



グレーを基調にした和モダンな切妻屋根の平屋。周囲の環境に馴染みながらも存在感抜群。南向きの屋根にはソーラーパネルを設置



木の香り漂う洗面室。洗面台など家具類は家に合わせて丁寧に造作



玄関横の和室は、閉めれば客間として、開ければ玄関ホールとひと続きに



風格ある一尺(30cm)角のヒノキの大黒柱が大空間をしっかりと支える



広々としたテラスでのんびり。長い軒を設けたテラスは夏の強い日差しを和らげてくれる



見せる収納がカフェのようなキッチン。キッチンカウンターは背の高い夫妻に合わせて高めに設定



日本家屋のエッセンスを今風にしつらえ 風格ある地棟が見守る心地いい木の平屋

確かな職人技で組まれた柱や梁、そして地棟の立派さが耐震性の高さを物語る。パインの無垢床は夏でも足触りがサラサラ。「よくネコごろ寝しています」(Oさん)

**納得するまで打ち合わせ
回遊動線で暮らしスムーズ**

「昔から社寺仏閣が好き。夫婦とも昔ながらの日本家屋で育ったこともあって、家を建てるなら木の平屋がいいね」と工務店探しを始めた。と話すのはO邸の奥さん。大喜工務店との出会いは、知人の勧めで同社の建築中の家を見学し、構造のすこや造作の美しさに感動したのが始まりでした。Oさんの実家近くの空き家があった土地を購入し、草刈りや木の伐採などもご夫妻自身で。喜代次さんや英喜さんにも希望を全部話し、納得するまで打ち合わせを重ね、プランを練ったそうです。

こうして田園に囲まれた敷地にモダンな平屋が完成。広いLDKを中心にしたシンプルな間取りで、家事に便利な回遊動線となっています。扉は全て引き戸でバリアフリー対策も万全。ロフトや造作収納も各所に備え、長く快適に住めるよう工夫されています。

大きな特徴は、伝統的な日本家屋の要素や素材使いが要所に生かされていること。リビングから見上げると、柱や梁以外に丸太の地棟(棟木の下に入れる太い横木)が入られ、悠然と家族を見守っています。玄関横の和室は戸を全開すれば、昔の縁側のように腰掛けて作業やおしゃべりすることも。障子や格子といった和意匠にも心が和みます。「毎日帰るのが楽しみで仕方ない」と微笑むOさん。「からつくり上げた愛着ある住まいで何気ない毎日を満喫する姿が目に浮かびます。」

だい き
(株)大喜工務店

☎0748-22-0028

✉info@daiki-k.jp

🌐https://www.daiki-k.jp/

大喜工務店 検索

県内施工対応エリア 滋賀県全域

建設許可番号 滋賀県知事許可(般-3)第40988号

建築士事務所登録番号 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第2419号



代表取締役 一級建築士
藤田 喜代次さん

阪神・淡路大震災を機に木造住宅のあり方を考え、「無添加骨太住宅」という「想定外」を想定した強い家を開発推進してきました。お客様の希望に対してはメリットもお伝えした上で、一緒に良いプランを作っています。



HPはこちら



東近江市平田町764
午前8時～午後10時/年中無休
来社の際は、電話連絡を